

2026年8月 (No.446)

主な内容とページ

巨額売上と利益集中 メモリ産業の今後	1
メモリ急騰が加速	2
利益額で SK ハイニックスが初のトップ	4
世界メモリ 3 社、利益率 71%	5
世界半導体企業 43 社、26 年第 2 四半期業績結果	6
米半導体大手、マイクロンがけん引	11
展望 転換点は？	11
吸引力と発信力(SRL だより)	13

巨額売上と利益集中 メモリ産業の今後

半導体メモリ大手 3 社の売上、利益は巨額化。エヌビディアを加えて新たな秩序をもたらしつつある。

1. 4－6 月期で韓国 SK ハイニックスが全世界半導体企業の利益額トップを確保。サムスン電子、マイクロンの業績も絶好調で、先行したエヌビディアに加えてメモリ世界大手が巨額の収益を確保している。
2. 台湾の GDP は 16 年ぶりに今年は二桁台、台湾、韓国の今年上期の輸出額が初めて日本を追い抜くなど、半導体景気が国家の盛衰に連なる傾向が強まっている。
3. メモリ品不足、その原因の AI ブームは、ここ当面継続しそうで、世界中から巨額の資金が関連大手に集中。その分配、還元、外部からの誘致、支援など活発な展開が本格化しそうだ。

吸引力と発信力(SRL だより)

半導体の世界は、新技術やそれを使った新たな試みに満ち溢れている。AI 分野は、さらにその範囲や傾向を拡大、可能性の宝庫、想像できなかった夢のようなことも実現することも可能だ。ジーッと指をくわえてみているのはもったいない。何でもできる、挑戦心を発揮し時代の変化に応じたい。

忘れてならないのは、多くの開発、アイデアその他材料は、自ら開発するのではなく、どこかに存在、それを見つけ、組み合わせたり、再構築することで新たな価値が生まれる。ということは、自らは吸引力、言葉を変えれば何を求めているか、発信しなければならない。これを支える十分な体力(利益)も前提だ。

どうも日本の会社は、吸引力、発信力が弱い感じがする。どうしても自分でやらなければ、という考えが先立つのではないだろうか。半導体や AI は、世界中から良いもののかき集め、その上で新たな価値を生み出す。個人も企業も吸引力、発信力が大事だと思う

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。
この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2026 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2026 年 8 月(毎月 1 回発行)第 37 巻 8 号(通巻 446 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2026

SRL Monthly Report

August 2026, No.446

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)